

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
（分担研究報告書）

将来に亘って持続可能ながん情報提供と相談支援の体制の確立に関する研究

研究分担者 田村 和夫 福岡大学医学部総合医学研究センター 教授

研究要旨

2018年度に続いて、がん情報を提供するための体制のさらなる確立に向け、日本がんサポーターズケア学会を代表して参加・検討した。

A. 研究目的

がんに関連した症状・兆候について研究班が作成した支持・緩和医療領域の情報の作成・評価に関わり、質の高い情報が発信できるように日本がんサポーターズケア学会（JASCC）として協力する。

B. 研究方法

研究班で作成された、がんやがん治療に関連した症状・兆候に関する情報を JASCC の関連部会で査読し、必要な情報を提供する。

（倫理面への配慮）

該当なし

C. 研究結果

国立がん研究センター（NCC）、情報センターと JASCC との申し合わせにより、JASCC のリンパ浮腫部会が「リンパ浮腫」、粘膜炎部会、神経障害部会が「味覚とにおい」、神経障害部会が「しびれ」、皮膚障害部会が「皮膚と爪のトラブル」、「脱毛」、高齢者のがん治療部会、サイコオンコロジー部会が「眠れない・不眠」、「もの忘れ・認知機能の低下」について review し、コメントを

つけて報告した。

D. 考察

NCC と JASCC を含むがん関連の学術団体が連携してがん情報を作成・改訂する体制を整えることが、質の高いタイムリーながん情報を継続的に発信できる基盤となる。今回 7 つの症状について対応ができた。今後、情報の作成・発信と同時に user である患者・家族、がん関連団体の参加を得て、作成されたがん情報の適切な評価を行い、作成者にフィードバックするシステムを築いていくことが求められる。

E. 結論

日本がんサポーターズケア学会は今後の研究ならびに正確ながん情報に発信に向けて協働・支援していく。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表 2. 学会発表  
本研究期間中になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
2. 実用新案登録
3. その他  
なし